施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 土木課

施策名	35 道路・橋りょう
政策名	快適な「暮らし」を造る
施策がめざす将来の姿	・適切な道路整備と維持補修により、安心して道路が利用でき、市内外を活発に人が行き交っています。
	0

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標		
橋りょうの耐震補強率	%	85	86		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	85	85	68		

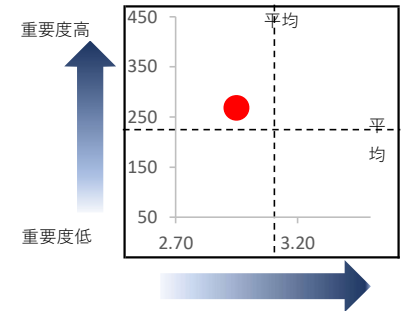
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
268

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
80.3	→	79.4

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

重要橋りょうの耐震補強率については、道路を安全に通行する上で重要な指標です。計画の見直しにともない、耐震補強が必要な橋りょうが増えたため、耐震補強率が減少しています。今後も幹線道路等の重要路線について、耐震補強や舗装補修を重点的かつ計画的に行い、通行者の安全性・快適性の向上を図っていきます。

また、橋梁の耐震化についても、緊急輸送路等の防災上重要な道路の橋梁について、引き続き計画的に行い、防災面における安全性を確保していきます。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
0					